

チェック1 ガスボンベの置き方、転倒防止措置 □

プロパンガスのボンベなどは置き方、取扱いに注意しましょう！



2m以上



ガスボンベは、
平らで直射日光の
当たらない風通しの良い
場所に設置しましょう。



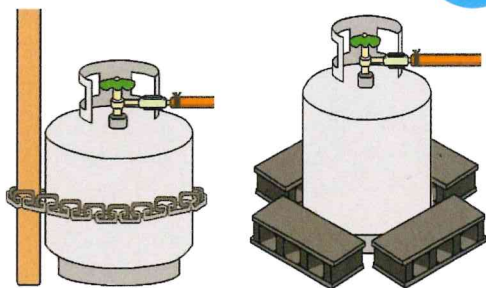
・プロパンガスボンベは火気から2m以上離して保管、設置
しましょう。 出典：東京都環境局Webサイト

また、転倒しないように固定しましょう！

例えば・・・

- 露店の枠組みに鎖や紐等で固定する。
- ブロックなどで固定する。

鎖やブロックで固定



ボンベのバルブなどに
袋や物を引っ掛けては
いけません！



→転倒やガス漏れの
危険が高くなります。

キュータからのお知らせ 屋外で火を使う皆様へ 火災を起こさないための チェックポイント！



よろしく
お願いします。

最初に消火器の準備

- ガソリンなどの燃料を使用する器具（発電機など）には、必ず消火器の準備をしてね！
- 錆びていたり、変形している消火器は使わないでね！



錆びている

凹んでいる

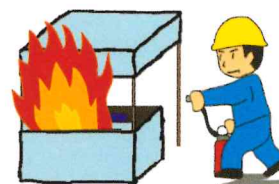
危険

消火器の使い方

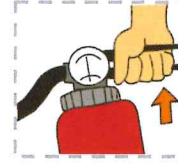
①黄色い安全ピンを抜く。



②ノズルを火元に向ける。



③レバーを強く握る。



動画でも
確認できます。

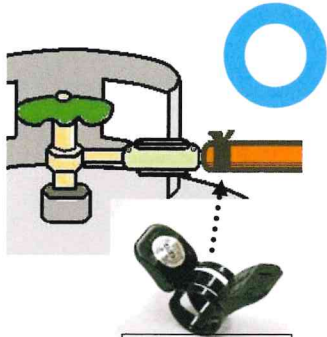


東京消防庁
Tokyo Fire Department

チェック2 ガス器具のホースの接続 □

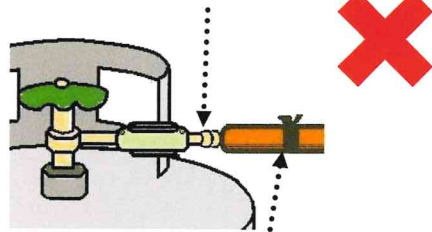
ガス器具のホースはしっかり差し込み、接続部分をホースバンドなどで締めつけましょう！

<良い例>



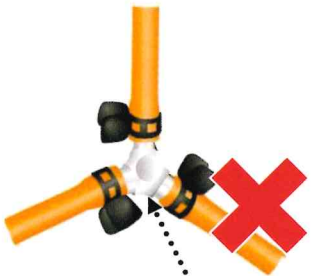
<悪い例>

差し込みが足りない

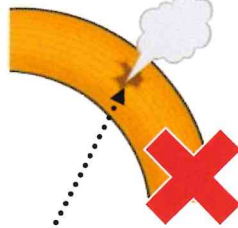


接続部分を締めつけていない

<悪い例>



三又の使用はやめましょう。



ひび割れ



焼け焦げ

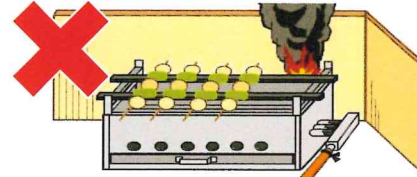
- ・三又を使った接続は、正しい燃焼を阻害します。三又を使用しないようにしましょう。
- ・ひび割れや、焼け焦げしているゴムホースは、ガス漏れの原因になりますので交換しましょう。

出典：LPガス保安協会

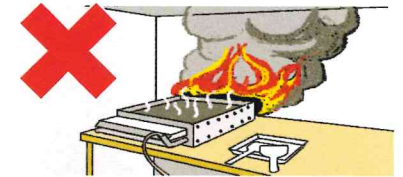
チェック3 調理器具の位置 □

器具を使用するときには周りを整理し、燃えやすいものの近くで使用しないようにしましょう！

●器具の周りに段ボールなどの可燃物を置かないこと！



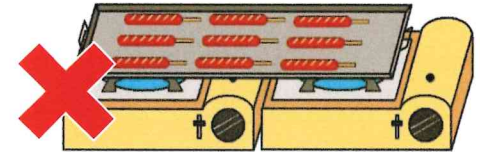
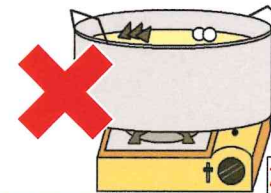
●テントなどの可燃物に近づけて器具を設置しないこと！



チェック4 カセットこんろの使用法 □

こんろより大きな鍋を使ったり、2台並べて使わないようにしましょう！

カセットこんろのポンベは正しく取り付けましょう！

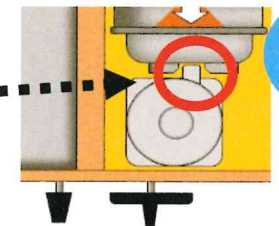


ポンベが過熱されて破裂する危険があります！

※カセットこんろのポンベが異常に過熱されると安全装置が働き、自動的に火が消えたり、ポンベが外れたりすることがあります。そのときは、使用状態を必ず確認してください！



切込み凹部をポンベ受けガイド凸部に合わせて取り付ける。

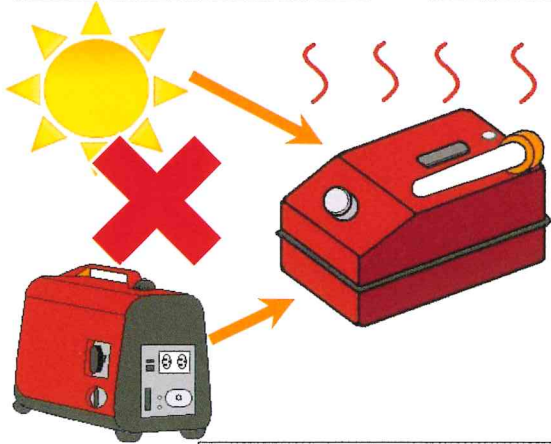


ポンベの誤った取り付けはガス漏れや火災の危険があります！

チェック5 携行缶の位置 □

ガソリンの携行缶は、高温となる場所には置かず、日陰の風通しの良い場所に置き、ガソリンの噴出事故に注意しましょう！

使用中の発電機などの近くや、直射日光のあたる所に置かない！



排気口から熱風が出ている

置き場所に注意！

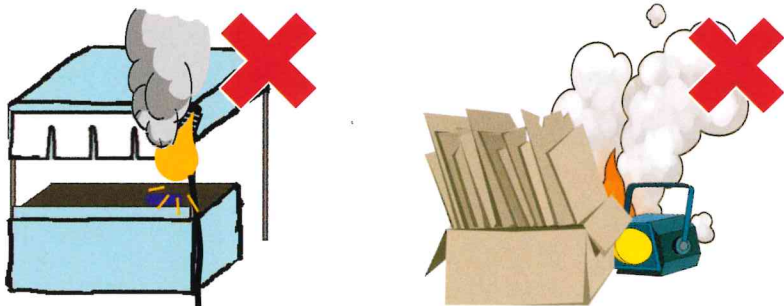
・高温の環境は禁止！

噴出事故に注意！

- ふたを開ける前に・・・
- ・周囲の安全を確認！
 - ・エンジンを停止！
 - ・エア抜きをする！

チェック6 照明器具の位置 □

照明器具は可燃物から離しましょう！



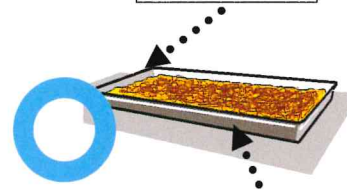
熱を発生する照明器具を装飾品や木板等の可燃物に近接して設けない。→出火の危険があります。

チェック7 揚げかすの処理方法 □

調理後の揚げかすは、十分に冷ましましょう！
重ねて多量に放置しないようにしましょう！
→蓄熱により自然発火する危険があります。

<良い例>

平たく置く



通気性のよい容器を使用

<悪い例>

多量に1か所に集めない



お知らせ

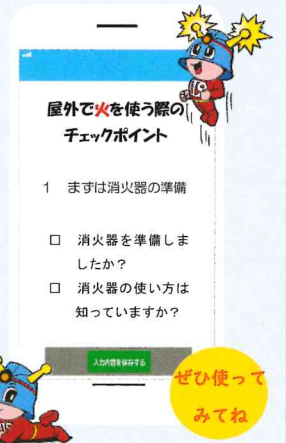
「東京消防庁公式アプリ」

をダウンロードしてみませんか。



- 消防や救急の情報を手軽に入手できる安全安心情報ツールです。

火気使用のチェックポイントをアプリでもチェックできます。



ぜひ使ってみてね

発行 東京消防庁予防部防火管理課 令和5年7月

問合せ先